

平成28年度施策評価シート(平成27年度実施事業)

施策名	幹線道路	施策コード 1-2-1	作成主管課	建設課
			関係課	都市計画課

総合計画後期基本計画の内容 ※H24.2月策定

政策体系	政策	広域交流基盤を生かした新時代のまちづくり
	小政策	多彩な交流・連携を支えるネットワークを形成します
現況と課題	本市は、東西方向に北関東自動車道、国道50号、南北方向に常磐自動車道、国道355号が通り、また、主要地方道などが連絡する広域交通の要衝となっています。これまでに、国道355号や主要地方道の一部区間の開通など、広域交通体系の整備促進が図られ、また、合併前の旧市町の一体化を促進する幹線道路も、合併に伴う財政支援策の活用により計画的な整備を進めてきました。特に、平成23年3月に北関東自動車道が全線開通したことにより、茨城港・茨城空港といった県内の主要施設と栃木・群馬方面との交通網が整備され、東京、東北方面を含めた「陸」「海」「空」をつなぐ交通の要衝としての機能が強化されました。この交通の要衝となる地理的優位性を、本市の成長につなげていくことが求められます。 今後とも、この優位性を十分に生かし、居住環境の魅力や産業の活力を高めていくために、広域交通体系と適切に連絡する幹線道路の整備促進を図り、活力ある住みよいまちを目指す必要があります。 また、市民生活の安全や利便性を確保するため、バリアフリー新法(高齢者・障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律)に基づくバリアフリー基本構想の策定について、検討を進める必要があります。	
	施策目標	活力ある住みよいまちづくりを目指し、市内外の交流を促進する道路網の構築に向けて、円滑な都市交通を形成する幹線道路の整備促進を図ります。

1 総合計画進行管理

市民からの意見・反応等	事業の早期完成を求める意見や要望が数多くある。
-------------	-------------------------

(1) 目標指標1

市民実感度指標		H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
市街地間の移動が向上していると感じている市民の割合	市民実感度	67.370	61.120	64.460	59.770	63.730	0.000
	加重平均値	2.812	2.726	2.760	2.705	2.721	0.000
※※※※※※	市民実感度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	加重平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
当施策を重要と感じている市民の割合	重要度		82.890	85.740	86.530	88.930	0.000
	加重平均値		3.362	3.358	3.412	3.505	0.000

(2) 目標指標2

数値指標		単位	H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
幹線道路の整備率(改良率)	目標値	%		75.3	75.5	75.5	75.6	78.2
	実績値	%	76.6	76.6	76.6	77.81	78.49	0
	達成度	%		101.73	101.46	103.06	103.82	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0
都市計画道路整備率	目標値	%		63	64	65.5	65.5	67
	実績値	%	63	63	66	67.8	68.2	0
	達成度	%		100	103.13	103.51	104.12	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0
※※※※※※	目標値	0		0	0	0	0	0
	実績値	0	0	0	0	0	0	0
	達成度	%		0	0	0	0	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0
※※※※※※	目標値	0		0	0	0	0	0
	実績値	0	0	0	0	0	0	0
	達成度	%		0	0	0	0	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0

数値指標の考え方	指標設定の考え方	広域交通体系と適切に連絡する幹線道路は、「整備率」で把握する。
	目標値設定の考え方	道路整備の予算状況を考慮し、施工延長から設定した。

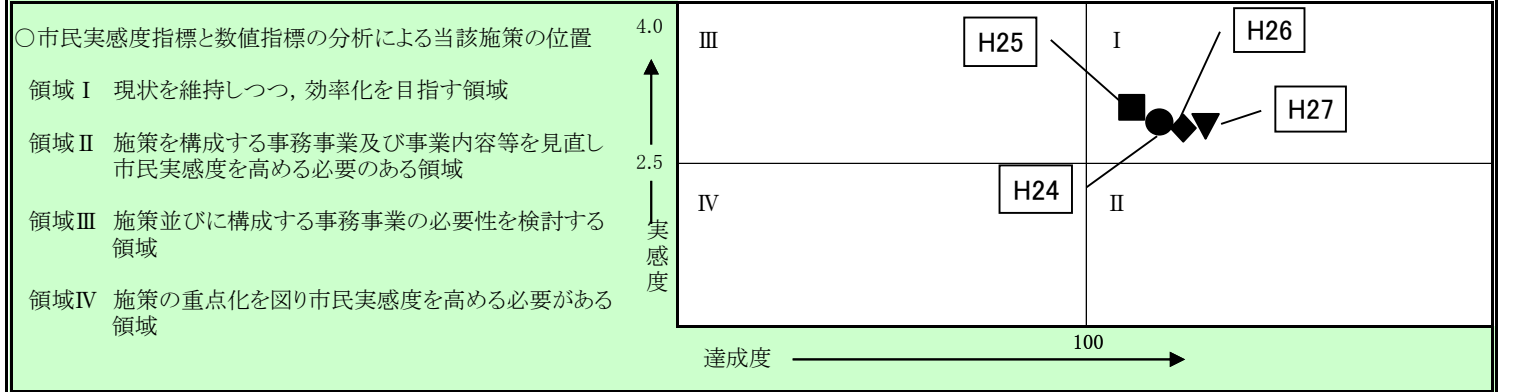
2 施策の成果向上に向けての市民と行政との役割分担をどう考えるか

市民の役割	市民(地域・団体・事業所)が自助でやるべきこと。共助でやるべきこと。市と協働でやるべきこと。 道路を供用開始した後の、道路法面の除草作業やごみ拾いなどの維持管理に関すること。
行政の役割	市がやるべきこと。県がやるべきこと。国がやるべきこと。 各事業の早期完成と、道路網の構築による交通利便性の向上を目指す。 工事費等の経費節減や工事期間短縮を図るとともに、施設の長寿命化を検討する。

3 平成27年度の実績

取組状況等	取組み内容と成果、成果が得られた要因として考えられること。 各路線とも事業の説明会、用地交渉等を行い用地の取得を進めながら、9路線で延長2,604mの道路舗装・改良工事を完了する成果が得られた。 都市計画道路岩間駅東大通線の改良工事が完了し全線を開通した。
-------	--

4 施策の評価(現状分析)



達成度評価	指標を分析した結果施策目標は達成されたのか 本年度は、国費の採択では71%であったが、事業間での予算の組換え等により目標が達成された。
-------	--

構成事務事業の適正性	施策目標を達成するための手段(事務事業)の構成は妥当か 施策を構成する事務事業は、目標に直接働きかけをしていることから、構成としては適正である。
------------	---

残された課題	平成28年度以降に残る課題、その要因として考えられること。 事業用地で未買収になっている箇所の取得が課題となっている。特に、地権者が死亡し相続手続きが済んでない案件の処理。
--------	---

5 今後の方向性

取組方針	平成29年度に向けた施策方針 事業の懸案となっている未買収地取得のため、関係地権者と積極的に交渉を継続する。 バリアフリーの整備促進については、整備を優先する路線の特定を行い、国庫補助等を活用しながらコストの削減に取り組む。 幹線道路を整備することにより、交通混雑の解消や沿道地区の開発が進められる。また、災害時の避難路としても利用できることから、早期整備を目指す。
------	--

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

施策名 01 幹線道路

事業費合計	平成25年度	平成26年度	平成27年度	3カ年計	3カ年平均
	570,418	778,793	505,183	1,854,394	618,131

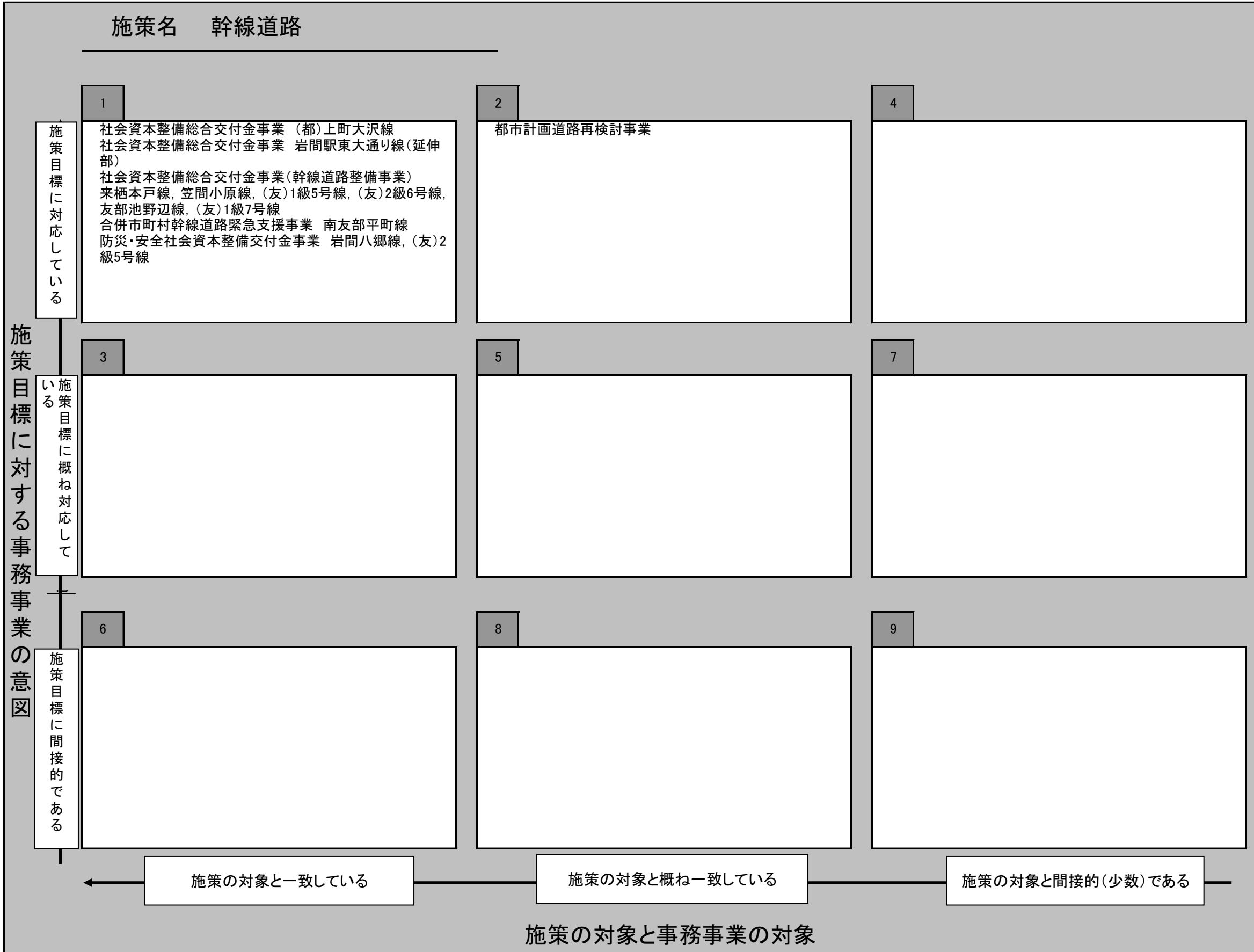
施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果						補助区分	事業費(千円)			小施策	担当課	貢献度評価
			成果指標①	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成25年度		平成26年度	平成27年度				
1	来栖本戸線整備事業 社会資本整備総合交付金(計画17)地域経済・活力の向上と安全快適なみちづくり 道路改良舗装工事 全体計画 L=3,200m W=6.0/10.0m 国道50号の渋滞緩和及び、北関東自動車道へのアクセス強化を図る幹線道路の整備事業。 供用済 L=880m(B.P~No.44) 改良済 L=808m(No.113+12~E.P(No.154)) 未買収 A=8,300㎡(27年度現在) 成果指数については、市町村道路改築事業箇所説明書の進捗率を参考資料とする。	102 建設・整備事業	進捗率	%	40	42	45	国・県補助	142,200	109,297	43,920	02 生活を支える幹線道路の整備	建設課	2	
2	南友部平町線整備事業 社会資本整備総合交付金(計画17)地域経済・活力の向上と安全快適なみちづくり 道路改良舗装工事 全体計画 L=2,030m W=6.0/11.0m 橋梁(上部)鋼単純少数主桁 橋長54m 橋梁(下部)逆T字橋台(直接基礎) 旧笠間地区と旧友部地区とを結ぶ合併支援道路の認定を受けた幹線道路の整備事業。	102 建設・整備事業	進捗率	%	23	30	32	国・県補助	28,500	125,204	41,070	02 生活を支える幹線道路の整備	建設課	4	
3	笠間小原線整備事業 防災・安全社会資本整備交付金(計画5)安心な通学空間を創るみちづくり 道路改良舗装工事 全体計画 L=2,300m W=6.0/10.0m 1工区 L=740m(供用済) 2工区 L=1,560m 笠間市街地から友部駅北口及び、笠間芸術の森公園周辺の交通形態の確立を図るための幹線道路の整備事業。	102 建設・整備事業	進捗率	%	36	64	79	国補助	142,394	73,680	53,697	02 生活を支える幹線道路の整備	建設課	2	
4	市道(友)1級5号線整備事業(小原) 道路改良事業 延長 1,480m 幅員 10m 地域間のアクセス向上と水戸市との連絡強化のため整備が必要。	102 建設・整備事業	進捗率	%	75	78	85	国補助	27,539	99,884	21,481	02 生活を支える幹線道路の整備	建設課	2	
5	(廃止)市道(友)2級6号線整備事業 2-6号線は、既に供用開始されているが、道路用地内において、相続手続きが行われていない道路用地(1筆)があり、道路用地取得のための相続人の確定調査	102 建設・整備事業	相続人	人	98	98	0	市単独	11,655	0	3,565	02 生活を支える幹線道路の整備	建設課	4	
6	(廃止)岩間八郷線整備事業 岩間八郷線は、既に供用開始されているが、道路用地内において、相続手続きが行われていない道路用地(1筆)があり、道路用地取得のための相続人の確定調査	102 建設・整備事業	相続人	人	15	99	0	市単独	19,740	112,137	100	02 生活を支える幹線道路の整備	建設課	1	
7	市道(友)2級5号線整備事業(随分附) 道路改良工事 延長 2,700m 幅員6/10m 県道水戸岩間線と県道友部内原線を結ぶ幹線市道であり、県立中央病院へ向かう車も多く通行する道路である。病院利用者や通勤通学の安全を確保するための整備を行う。	102 建設・整備事業	進捗率	%	3	20	34	国補助	16,097	103,642	37,281	02 生活を支える幹線道路の整備	建設課	4	
8	(廃止)友部池野辺線整備事業 起債事業 道路改良舗装工事 L=140m W=6.0/10.0m(国補)幹線道路「友部池野辺線」(道整備交付金事業H18~H21)の未改良区間	102 建設・整備事業	整備率	%	13	31	0	市単独	17,500	22,088	0	02 生活を支える幹線道路の整備	建設課	4	
9	県道水戸岩間線歩行者空間整備事業 本路線は、笠間市駅周辺整備活性化プランに位置づけられており、岩間駅への通勤通学路であると共に愛宕山のハイキングコースのハイカーのアクセス道路でもあるため、歩行空間の高質化により歩行者の回遊性の向上が図れ、観光客が増大し、当該地区の活性化につながるため整備が必要である。 L=300m W=5.5/8.0m C=100,000千円 H27 測量・設計 L=300m 工事 L=100m H28 工事 L=200m	102 建設・整備事業	満足度	%	0	0	0	国補助	0	1,408	12,584	02 生活を支える幹線道路の整備	都市計画課	3	
10	市道(友)1級5号線(小原)道路整備事業(繰越) 道路改良事業 延長 1,480m 幅員 10m 地域間のアクセス向上と水戸市との連絡強化のため整備が必要。	102 建設・整備事業	進捗率	%	0	0	80	国補助	0	0	4,966	02 生活を支える幹線道路の整備	建設課	2	
11	市道(友)2級6号線(旭町)道路整備事業(繰越) 道路改良工事 延長 250m 幅員 10m 歩道を整備して通学児童等の安全を確保するとともに、県道平友部停車場線の渋滞緩和を目的として整備する。	102 建設・整備事業	進捗率	%	0	0	99	市単独	0	0	0	02 生活を支える幹線道路の整備	建設課	4	
12	市道(友)2級5号線(随分附)道路整備事業(繰越) 道路改良工事 延長 2,700m 幅員 6/10m 県道水戸岩間線と県道友部内原線を結ぶ幹線市道であり、県立中央病院へ向かう車も多く通行する道路である。病院利用者や通勤通学の安全を確保するための整備を行う。	102 建設・整備事業	進捗率	%	0	0	26	国補助	0	0	7,219	02 生活を支える幹線道路の整備	建設課	4	
13	岩間八郷線道路整備事業(繰越) 道路改良工事 延長 180m 幅員 11m 歩道整備・拡幅工事を実施し、通行者及び通学児童等の安全を確保する。	102 建設・整備事業	進捗率	%	0	0	100	国補助	0	0	1,619	02 生活を支える幹線道路の整備	建設課	1	

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

	施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果					補助区分	事業費(千円)			小施策	担当課	貢献度評価
				成果指標①	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
14	市道(友)1級7号線(美原)道路整備事業(繰越)	歩道整備・交差点改良工事 延長 340m 幅員6.0/10.0m 歩道の未整備区間及び狭隘な交差点があり、保健センターや小学校への通行者及び通学児童等の安全を確保するため整備する。	102 建設・整備事業	進捗率	%	0	0	43	国補助	0	0	24,792	02 生活を支える幹線道路の整備	建設課	4
15	笠間小原線道路整備事業(繰越)	防災・安全社会資本整備交付金(計画5)安心な通学空間を創るみちづくり 道路改良舗装工事 全体計画 L=2,300m W=6.0/10.0m 1工区 L=740m(供用済) 2工区 L=1,560m 笠間地区から友部駅北口及び、笠間芸術の森公園周辺の交通形態の確立を図るための幹線道路の整備事業。	102 建設・整備事業	進捗率	%	0	0	68	国補助	0	0	65,538	02 生活を支える幹線道路の整備	建設課	2
16	来栖本戸線道路整備事業(繰越)	社会資本整備総合交付金(計画17)地域経済・活力の向上と安全快適なみちづくり 道路改良舗装工事 全体計画 L=3,200m W=6.0/10.0m(変更H18~H32) 国道50号の渋滞緩和及び、北関東自動車道のアクセス強化を図る幹線道路の整備事業。 成果指数については、市町村道路改築事業箇所説明書の進捗率を参考資料と	102 建設・整備事業	進捗率	%	0	0	42	国補助	0	98,000	31,164	02 生活を支える幹線道路の整備	建設課	2
17	友部池野辺線道路整備事業(繰越)	起債事業 道路改良舗装工事 全体計画 L=140m W=6.0/10.0m(国補)幹線道「友部池野辺線」(道整備交付金事業H18~H21)の残区間 委託費 864千円(26繰越) 工事費 81,340千円(26繰越) 用地費 3,643千円(26繰越) 補償費 4,525千円(26繰越) ・H27年度事業完了	102 建設・整備事業	進捗率	%	0	0	0	市単独	0	0	45,088	02 生活を支える幹線道路の整備	建設課	4
18	岩間駅東大通線整備事業(延伸部)(繰越)		102 建設・整備事業			0	0	0		0	0	0	02 生活を支える幹線道路の整備	都市計画課	1
19	日吉町古市線整備事業	都市計画道路日吉町古市線は平成18年度からまちづくり交付金事業で整備を進めていた。本事業は、その事業の延伸であり、県道水戸岩間線及び岩間駅東大通り線と一般県道上吉影岩間線を経て県道茨城岩間線までを整備するもので、アクセス性の向上を図り、都市の健全な発展に寄与するものである。 L=900m,W=6.0/16.0m C=765,000千円 H28~H35 H28 測量、設計(単費) H29 測量、補償調査、不動産鑑定 H30 用地買収、補償、工事	102 建設・整備事業	車での移動時間	分	0	0	0	国補助	0	0	0	02 生活を支える幹線道路の整備	都市計画課	未実施
20	岩間駅東大通り線整備事業(延伸部)	都市計画道路岩間駅東大通り線は、駅東口からまちづくり交付金事業で整備を進めていた。本事業は、都市計画道路日吉町古市との交差点付近から国道355号バイパスまでを延伸し整備するもので、アクセス性の向上を図り、都市の健全な発展に寄与するものである。L=680m,W=6.0/20.0m C=830,000千円 H21~H27 H22 測量・設計、補償調査、不動産鑑定 H23 用地買収、補償 H24 用地買収、補償 H25 用地買収、補償、工事 H26 用地買収、補償、工事 H27 工事	102 建設・整備事業	車での移動時間	分	10	10	10	国補助	161,174	32,091	95,780	02 生活を支える幹線道路の整備	都市計画課	1
21	国県補助事業調整事務	笠間市内を通る国道や県道・河川の整備・充実を早期に図るため国や県と連携を密にし、国県事業の事業調整・整備促進を図る。また、都市建設部が主となる国庫補助事業の庁内各課を調整し、とりまとめて申請する。	103 内部管理事務	整備促進	箇所	14	13	13	市単独	453	453	589	01 広域交通体系の整備	建設課	2
22	都市計画道路再検討事業	笠間市における都市計画道路は、38路線(H23.4.1現在)、約89,900mが決定されているが、整備済区間は全体の約67.2%であり、計画決定後20年以上を経過して整備未了となっている路線は17路線にのぼる状況となっている。 都市計画決定後、整備未了となっている都市計画道路について、計画の必要性、事業の支障となる要因等を評価し、計画の継続、変更、廃止の方向性を判断し、それに基づいた都市計画の変更等の手続を行う。	104 計画策定事務	見直対象路線数	路線	21	21	6	国補助	3,166	774	14,572	02 生活を支える幹線道路の整備	都市計画課	4
23	街路事業促進事務	毎年、茨城県街路事業促進協議会が国の関係機関へ行う要望活動へ参加するための経費と、同協議会開催の先進地視察等を含む現地研修会への参加及び街路に関する様々な情報の提供を受けるための負担金である。	106 政策的事業	要望参加回数	回	0	1	1	市単独	0	135	158	02 生活を支える幹線道路の整備	都市計画課	12

シート1 施策内事務事業目的直結度評価

施策名 幹線道路



義務的事業, 内部事務事業

シート2 施策内事務事業貢献度評価

施策名 幹線道路

施策の目的に対する事務事業の目的の直結度

- ↑
- 非常に高い
- 1
- 2
- 3
- 高い
- 4
- 5
- 6
- 中
- 7
- 8
- 9
- 低い
- ↓

1	2	4
社会資本整備総合交付金事業(都)上町大沢線 社会資本整備総合交付金事業岩間駅東大 通り線(延伸部) 防災・安全社会資本整備交付金事業 岩間 八郷線	社会資本整備総合交付金事業(幹線道路整 備事業) 来栖本戸線, 笠間小原線, (友)1級5号線 国県補助事業調整事務	社会資本整備総合交付金事業(幹線道路整 備事業) 友部池野辺線, (友)2級6号線, (友)1級7号 線 合併市町村幹線道路緊急支援事業 南友部 平町線 防災・安全社会資本整備交付金事業(友)2 級5号線
3	5	7
都市計画道路再検討事業		
6	8	10
9	11	12

成果は高い (上位)

成果はやや高い (中位)

成果は普通 (中位)

成果は低い、ほとんど出ていない
若しくは把握できない(下位)

事務事業の成果

事務事業の休廃止検討エリア

義務的事業, 内部事務事業

事務事業の成果基準の説明